

2022年競技役員講習会 Q & A (抜粋)

- Q 自由形で、折り返し後にあおむけになってからうつ伏せに戻って泳いだ場合は違反になりますか？
- A 自由形競技であれば違反とはなりません、メドレー競技の自由形の場合は違反となります。
- Q 自由形にて途中で泳ぎを変えた場合は違反になりますか？
- A 自由形競技であれば違反とはなりません、メドレー競技の自由形の場合はその他の 3 泳法で泳いだ場合は違反となります。
- Q 15mの距離制限を見る位置は、マーカーの手前または奥のどちらですか？
- A 15mマーカーは中央が 15m地点になるように設置されていますので、中央での 15m判定をお願いします。
- Q 泳法審判員の動きについて、5mフラッグの位置で止まるのか、内側まで入るのかどちらが良いのでしょうか？ 5mより内側は折返監察員の方が見やすいと思います。
- A 泳法審判員も折返監察員の補佐をしていただきたいので、折り返し(ゴール)動作の監察をお願いします。見やすい位置まで入り込む必要があるため、見える位置(5mより内側)まで入り込んで観察してください。
- Q 障がいをお持ちの方から競技役員へ補助の依頼があった場合は協力して良いのでしょうか？
- A 原則として競技役員が補助を行うことはしません。介添えが必要な方はご自身で介助者を帯同いただくことをお願いしています。
- Q 今後、失格判定の抗議に対し、ビデオ判定を活用することは考えていますか？
- A 現状では行いません。国際水泳連盟や日本水泳連盟の競技規則改定など、今後の動向次第で検討していくことになると思います。